

南房総市の総合事業について（デマンド型乗合タクシー実証運行）

（計画事業）

（調査事業）

現況及び課題

- 地域内交通のネットワーク構築を目指し、乗合バスを含めた全ての交通について南房総地域全体を俯瞰した広域的交通環境の整備を推進を目指し、幹線としての快速バス「うらら」の実証運行を開始した。
- 地域内の幹線へ接続する支線の運行方法として、バスのみならず小規模需要地域に対応した運行形態として、地域内にある交通手段を活用したデマンド型乗合タクシーの構築を目指す。

活性化の目標・方向性

- 地域内交通の本来持つ役割を明確化し、幹線・支線の接続性を高めるとともに、既存のバス路線において小規模需要地域等の運行形態を見直し、効率的な運行を図る。
- 小規模需要地域等においては、運行地域の地形、集落の配置や、運行便数の補完を目的として、デマンド型乗合タクシーによる支線運行により、交通結節点においてバス路線との接続を重視した運行により、効率的な再編を目指す。

実施する事業の内容

- 南房総市デマンド型乗合タクシー実証運行事業（平成21年9月～平成22年度）
 - ◆ルート 南房総市内の小規模需要地域
 - ◆運賃 大人200円～300円（小学生以下）150円
- 利用促進方策（平成21年度～平成22年度）
 - ◆既存バス路線等との接続性重視
 - ◆市広報、広報無線、拠点施設等でのPR、パンフレット作成
 - ◆潜在需要者への積極的PR

南房総市の総合事業について（コミュニティバス実証運行）

（計画事業）
（調査事業）

現況及び課題

- 合併前の旧町村の事情により廃止代替バス等が運行されているが、サービス水準の違いがあるほか、ネットワークが充分でないといった課題がある。
- このため、乗合バスを含めた全ての交通について南房総地域全体を俯瞰した広域的交通環境の整備を推進し、公共交通が相互に補完したネットワークの構築を目指す。

活性化の目標・方向性

- 市域内における交通不自由地域から、JR、高速バスの広域交通（一次交通）との接続性を高め、ネットワークの充足を図り、一次交通の利用促進と地域交通の利用拡大の取り組みを連動して展開し、地域住民の利用拡大、来訪者の地域交通の確保により、利便性の高い効率的な運行を図る。
- 地域住民の生活系交通と、来訪者の観光系交通を融合させた地域交通ネットワークを構築し、地域公共交通の維持と活性化を図る。

実施する事業の内容

- 南房総市快速バス「うらら」実証運行事業（平成20年10月～平成22年度）
 - ◆ルート（平日）富浦駅—市役所—枇杷倶楽部—道楽園—三芳病院—鄙の里—南三原駅—安房拓心高校—和田福祉センター
 - （土休日）富浦駅—枇杷倶楽部—道楽園—鄙の里—ローズマリー公園—和田福祉センター
 - ◆本数 1日6往復
 - ◆運賃 2地区まで200円、3地区以上300円 ※地区は合併前旧町村
- 利用促進方策（平成20年度～平成22年度）
 - ◆JR東日本との連携によるPR、商品化
 - ◆安房拓心高校の全面協力による通学生徒利用促進
 - ◆鉄道、高速バスからの乗継割引による利用促進

